

I 平成 25 年度事業報告

1. 会議等

1) 総会

日時：平成 25 年 6 月 18 日（火） 14：00～14：40

場所：フェルケール博物館 会議室 静岡県静岡市清水区港町 2-8-11

- ・視察研修

オーシャンプリンセス号による清水港内視察研修

- ・施設見学 フェルケール博物館

- ・交流会 ミクニ シミズ

2) 企画委員会

第 1 回企画委員会

日時：平成 25 年 7 月 4 日（木） 14：30～16：30

場所：一般社団法人ウォーターフロント協会

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

第 2 回企画委員会

日時：平成 25 年 10 月 10 日（木） 14：30～16：30

場所：一般社団法人ウォーターフロント協会

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

第 3 回企画委員会

日時：平成 26 年 3 月 7 日（金） 14：30～16：30

場所：一般社団法人ウォーターフロント協会

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

3) 役員会

日時：平成 26 年 2 月 19 日（水） 10:30～13：00

場所：一般社団法人ウォーターフロント協会

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

4) 助成事業審査委員会

日時：平成 25 年 12 月 17 日（火） 14：30～16：30

場所：一般社団法人ウォーターフロント協会

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

2. 助成事業について

1) 平成 26 年度助成事業決定について

平成 25 年 10 月 15 日 正会員にメールにて助成事業募集をし、11 月 29 日締切り。

平成 25 年 12 月 17 日に開催された審査委員会で次の 4 件の助成が決定された。

	館名	活動名	実施期間	助成金
1	(公財)帆船日本丸記念財団 横浜みなと博物館	横浜赤レンガ倉庫ペーパークラフト製作	平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 31 日	300 千円
2	日本郵船歴史博物館	企画展『東洋汽船そのあしどり -創業・発展・合併-』	平成 26 年 4 月 25 日～ 平成 26 年 7 月 27 日	300 千円
3	名古屋海洋博物館 南極観測船ふじ	第 47 回名古屋港港湾ゼミナール	平成 26 年 9 月 11 日	150 千円
4	うみてらす 1 4	うみてらす 1 4 PR 用パンフレット印刷	平成 26 年 5 月頃～ 平成 27 年 3 月	50 千円
合計			4 館	800 千円

◀ 平成 26 年度助成事業審査委員会 ▶

委員名簿

(五十音順、敬称略)

飯沼 一雄	船の科学館 学芸部長 (企画委員)
志澤 政勝	横浜みなと博物館 副館長 (企画委員長)
津田 修一	国土交通省港湾局 海洋・環境課 課長
矢下 忠彦	公益社団法人日本港湾協会 事務局長 (委員長)

2) 平成 25 年度助成事業実施について

平成 25 年度助成事業は平成 24 年 12 月 16 日に開催された審査委員会で 7 件の助成が決定されたが、みちのく北方漁船博物館から辞退の申し出があり 6 件の助成を行った。

	館名	活動名	実施期間	助成金
1	みちのく北方漁船博物館	平成 25 年度海と船の企画展「船舶画にみる日本の船のあゆみ」	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日	辞退
2	青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	企画展「青函連絡船の船体構造写真展」	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日	147 千円
3	公益財団帆船日本丸記念財団 横浜みなと博物館	「横浜港ゆかりの船 (仮題)」 出版	平成 25 年 10 月 15 日～ 平成 26 年 2 月 15 日	163 千円
4	日本郵船歴史博物館	小学生飛鳥Ⅱペーパークラフト教室	平成 25 年 8 月 24 日～ 平成 25 年 8 月 24 日	50 千円
5	日本海交流センター帆船海王丸 (海王丸パーク)	大規模修繕にかかる内容展示	平成 25 年 4 月 26 日～ 平成 25 年 5 月 25 日	114 千円
6	名古屋海洋博物館 南極観測船ふじ	第 29 回ボトルシップ展	平成 25 年 11 月 1 日～ 平成 25 年 12 月 28 日	50 千円
7	海峡ドラマシップ (関門海峡ミュージアム)	海と船の体験学習室	平成 25 年 4 月 6 日～ 平成 25 年 9 月 1 日	147 千円
合計			6 館	671 千円

3. みなとの博物館シンポジウム

テーマ「いま、みなとの博物館を考える」

日 時：平成 25 年 4 月 12 日（金）14：00 ～ 19：30

場 所：ホテルアジュール竹芝 東京都港区海岸

- ・基調講演（14:30～16:30）

「なにわの海の時空館のケースに見る博物館のこれから」

石浜 紅子（元 なにわの海の時空館 館長）

「がんばれ! 日本の博物館」

半田 昌之（一般財団法人日本博物館協会 専務理事）

- ・講師・会長を囲んで意見交換会

- ・交流会

4. 会報の発行

平成 25 年 8 月 28 日

会報第 9 号を発行。

（資料参照）



会報 9

5. 表彰状の授与

神戸海洋博物館は神戸港の歴史や震災防災教育を通じ豊かな海洋思想の創出と地域の発展に寄与し港湾の振興に多大に貢献した功績を評価され、港湾功労者として海の日付で近畿地方整備局長より表彰されました。



表彰状

6. 国土交通省への要望

平成 25 年 9 月 20 日(金) 国土交通省港湾局長、海洋・環境課長に要望書を提出した。

<要望内容>

1. みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の継続

みなとの博物館ネットワーク・フォーラムは、設立以来その目的であるみなとの博物館の振興を図るため、様々な活動を行ってまいりました。

この間ホームページを一新し、ロゴマークにかえて、ミュージローキャラクターを全面的に活用するなどの改訂を行ってきました。

また、一昨年よりメールマガジン「みなとの博物館情報」及びホームページにおいて「今月の逸品」など新たな事業も開始しました。

さらに本年「いま、みなとの博物館を考える」というテーマで、初めてシンポジウムを開催し、新しい形の情報交換が出来ました。主たる事業である助成事業、スキルアップ交流会は高く評価されています。

しかし、いずれの博物館も経営環境は厳しく、当ネットワーク・フォーラムの運営も大変難しい状況です。

つきましては、このことを十分理解され、今後ともご支援を賜りますよう、特段のご指導をお願い致します。

7. ホームページについて

ホームページ内容を一部変更。

主な変更項目

- ・新規加盟館追加及び退会館削除
- ・会員名簿及び役員名簿変更
- ・全国みなとの博物館情報
(地図等の変更)

より多くの方々からのアクセスを図るため、各会員館へリンクをお願いした。

会員館博物館及び運輸振興協会(のりもの博物館)HPによるリンク。



【今月の逸品】

vol.18 石川県銭屋五兵衛記念館 (平成 25 年 4 月)

銭五(銭屋五兵衛)家旧蔵仏壇*160年の時を超え*里帰り

vol.19 海とくらしの史料館 (平成 25 年 5 月)

かわいさ日本一! 巨大マンボウ 『チョボリン』

vol.20 みくに龍翔館 (平成 25 年 6 月)

エッセルの日本回想録

vol.21 道の駅「開国下田みなと」(ハーバー&JGFAカジキミュージアム)

(平成 25 年 7 月)

- 秀吉の小田原攻めと下田城の模型
- vol. 22 物流博物館 (平成 25 年 8 月)
菱垣船并ニ渡海之図
- vol. 23 四日市港ポートビル「うみてらす14」 (平成 25 年 9 月)
地上90mからの展望
- vol. 24 神戸大学海事博物館 (平成 25 年 10 月)
千石船の舵用材(実物)
- vol. 25 瀬戸内海歴史民俗資料館 (平成 25 年 11 月)
垣立の型板
- vol. 26 琴平海洋博物館 (海の科学館) (平成 25 年 12 月)
西洋軍艦構造分解図説と海岸備要
- vol. 27 関門海峡ミュージアム (平成 26 年 1 月)
海峡アトリウム
- vol. 28 博多港ベイサイドミュージアム (平成 26 年 2 月)
コンテナクレーン体験ブース
- vol. 29 長崎県新上五島町鯨賓館ミュージアム (平成 26 年 3 月)
セミ鯨のヒゲ板を使った応接セット

8. スキルアップ交流会

日 時：平成 25 年 12 月 11 日（水）～12 日（木）

場 所：「せんぐう館」等伊勢神宮関連施設

参 加：7 館 7 名参加。

補 助：片道交通費

研修内容：・「せんぐう館」等伊勢神宮関連施設を見学

・講話

講師 神宮司廳 文化部主幹 式年遷宮記念せんぐう館

神宮権禰宜 石垣 仁久氏

・交流会及び意見交換会

9. 「博物館情報」の配信

平成 22 年 9 月より配信。

正会員のほか、メールアドレス登録している会員、ウォーターフロント協会会員、国土交通省各港湾事務所等約 800 ヶ所に配信している。

